

ご近所のお医者さん

478

大阪医科大学付属病院
循環器内科診療科長

星賀正明さん

—高槻市

生命を縮める「心不全」

最近、どうも疲れが取れない……。
誰しも一度は経験したことがあるので
はないでしょうか？ 我々の生活の中
でも「とにかく、しんどい」という言
葉はよく聞こえてきます。年齢からく
るものや

ストレス、その他にも

体重維持、減塩 心がけて

もなりか
ねず、で
きるだけ

ろいろな原因が考えられますが、もし
かしたら「心不全」かもしれません。
心不全というのは心臓の機能が衰え
ている状態で、「心臓が悪いために、
息切れやむくみが起こり、だんだん悪



を果たしています。心臓が収縮するこ
とで血液が全身に送られますが、この
機能が弱くなると、全身に血液が巡ら
ず、酸素が届かなくなってしまう。
そうすると「息切れ」が起きてくる
わけです。逆に血液が戻ってくる時に
は、心臓が広がります。これは「拡張」
と言いますが、心臓の拡張が悪いと、
血液が戻りにくくなってうっ血が起こ
りやすくなります。高齢者や女性に多
いことが分かってきました。

心不全は徐々に悪くなる慢性心不全
がほとんどで、経過中に悪くなって入
退院を繰り返すことが多い疾患です。
入院中は、酸素吸入や点滴、飲み薬の
調節、専門職が監視しながらの心臓リ
ハビリテーションなどが行われます。
ただ、注意しなければならないのは、
入退院を繰り返すこと自体が身体活動
度を低下させることです。生命を縮め
ることに

(府医師会理事)